

いきいき通信

大船渡市男女共同参画情報

2022春号

いきいき通信では、年2回男女共同参画に関する情報をお知らせします。

編集・問い合わせ先／男女共同参画室
 (☎0192②3111(内線278)／FAX0192②8878)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



市は、持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえて各種取組を推進しています。

いわて男女共同参画サポーターの会気仙ブロックの活動について

■DV・デートDVに関する研修会を実施

令和3年10月、おおふなぼーとでDV(ドメスティック・バイオレンス)やデートDVをテーマとした研修会を開催し、同ブロックの会員や男女共同参画に関心のある人など、市内外から15人が参加しました。

講師は、「いわて男女共同参画サポーターの会」の武蔵野美和副会長。参加者は、DVなどの家庭内暴力が子どもへ及ぼす悪影響や、被害者への支援方法、災害時における避難所での被害防止対策などについて、改めて理解を深めました。

また、ロールプレイング体験を取り入れた講義

では、参加者が感想などを発表し合い、会場は和やかに盛り上がりました。

■市内の商業施設で普及啓発活動を実施

令和3年11月、サン・リアとマイヤ大船渡店の2カ所で、おおふなと男女共同参画「うみねこの会」と共同し、「女性に対する暴力をなくす運動」のシンボルであるパープルリボンの普及啓発活動を行いました。

配偶者暴力相談支援センターなどの相談先が記載されたパンフレットを配布しながら、上記研修会で得た知識を正しく伝えられるよう心掛けつつ、市民へ暴力の根絶を呼び掛けました。



～今年度の活動は、岩手県の「2021年度地域における男女共同参画サポーターとの協働事業」により実施しました～

いわて男女共同参画サポーターに市民4人が認定

「いわて男女共同参画サポーター」として、今年度は新たに4人の大船渡市民が岩手県知事から認定され、総勢37人となりました。サポーターは、全13講座のうち、10単位以上を受講するほか、講座まとめレポートなどを提出することで認定されます。

男女共同参画社会の実現に向けた各種課題や、社会の現状などに加え、日常生活において誰もが持っている「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)」や「固定的性別役割分担意識」などに気付くきっかけとなる講座が多く、性別や世代にかかわらず、多くの人に受講していただきたい内容です。

また、インターネットによるオンライン講座なので、生活リズムに合わせていつでも受講することができるほか、繰り返しての視聴も可能で、聞き逃すことなく内容を理解することができます。

なお、年度内に取得単位を満たさない場合は、翌年度に単位を繰り越して、引き続き受講することができます。

サポーターに認定された人は、学んだ知識を生かし、さまざまな活動を行っています。自己啓発の一環として受講してみたいかでしょうか。

男性にも関わりのある講座です。ぜひ受講してみませんか？

「お父さんといっしょーウインタークッキング」と「男性のための料理教室」を開催

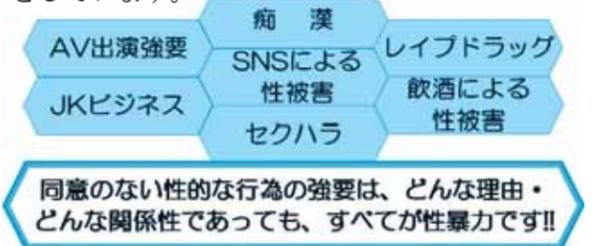
令和3年12月に、市保健介護センターで、男性や子どもを対象とした2つの料理教室を開催し、「お父さんといっしょーウインタークッキング」には親子6組が、「男性のための料理教室」には6人が参加しました。

初心者や子どもでも簡単に作れる料理を学び、参加者同士で教え合ったり、できあがった料理を親子で試食したりしながら、会話や交流を楽しむ様子も見られました。コロナ禍のため、人数を制限した中で開催しましたが、参加者からは「家でも親子で料理を作ってみたいと思いました」や「とてもいいイベントでした。このようなイベントが増えてほしいです」などの声が寄せられ、有意義な時間となりました。



4月は「若年層の性暴力被害予防月間」です

国では、主に10代・20代の若者が、進学・就職時期で生活環境が変わる4月を被害予防強化月間としています。



同意のない性的な行為の強要は、どんな理由・どんな関係性であっても、すべてが性暴力です!!

相談窓口(全国共通の電話番号)
 #8891(内閣府/被害者支援センター)
 #8103(警察庁/性犯罪被害相談電話)
 ~社会全体で性暴力をなくすために、この情報を皆さんで共有し、拡散していきましょう!~



経済産業省では、誰でも無料でデジタルスキルを学べるオンライン講座の情報をまとめた、「巣ごもりDXステップ講座情報ナビ」をホームページに掲載しています。

デジタル変革(DX)が加速する中、コロナ禍において、自宅に居ながら新しい知識やスキルを習得できる100以上の講座がカテゴリごとに検索できます。初心者向けの講座もありますので、新しいチャレンジを始めてみませんか? 下記により検索するか、右の2次元コードからアクセスできます。

経済産業省 巣ごもりDX 検索



多様な性(LGBTQ+)

令和3年11月に、市職員を対象として「多様な性(LGBTQ+)」に関する研修会を行い、39人が受講しました。

研修会は、岩手県男女共同参画センターの「出前講座」を活用し、岩手県環境保健研究センター地球科学部主任専門研究員の佐藤卓氏を講師に迎えました。「性」は、男性・女性の二極化したものではなく、多彩であり、「身体の性」や「こころの性」、「好きになる性」などがあること、最近の研究では、LGBTQ+が、胎児期の遺伝的影響により生み出された指向・認識であるため、後から変えられないことなどを学びました。

また、LGBTQ+の人は、多様性を認めない社会では生きづらいと感じています。誰に対しても個々の多様性を認め、しっかりと理解した上で、業務に当たることの大切さを再確認しました。

人口のうち、3%から10%くらいの人が、LGBTQ+の人たちと言われているトン! 見た目や性格が人それぞれであるように、性や考え方も人それぞれでいいトン!



- 『LGBTQ+』とは?
- L…レズビアン(女性として、女性が好きな人)
 - G…ゲイ(男性として、男性が好きな人)
 - B…バイセクシュアル(好きになる性が男女どちらでもよい人)
 - T…トランスジェンダー(こころの性と身体の性が一致しない人)
 - Q…クエスチョニング(こころの性や好きになる性を決めていない、決まっていない人)
- クィア(風変わりな・奇妙なという意味の言葉。自分の心や好きになる性について、そのような考えを持つ人)
- +…プラス(ほかにもさまざまな性があることを示しています。)
- ※【例】X: エックスジェンダー(こころの性が男女どちらでもない、または、どちらでもある人)
 A: アセクシュアル(恋愛感情を持たない、性的な感情を重要視しない人など)
 I: インダーセックス(生殖系の構造に変異がある人や、染色体のパターンが通常と違う人など)